

平成 25 年第 3 回西海市議会定例会

市政一般に対する質問一覧

月 日	通告順	登壇順	氏 名	頁
9月10日(火)	1	1	瀧 瀬 栄 子 議員	1
	2	2	岩 本 利 雄 議員	2
	3	3	渡 辺 督 郎 議員	3
	4	4	中 野 良 雄 議員	4
	5	5	宮 本 一 昭 議員	4
9月11日(水)	6	1	中 尾 清 敏 議員	5
	7	2	吉 田 年 位 議員	6
	8	3	浅 田 直 幸 議員	7
	9	4	朝 長 隆 洋 議員	8
	10	5	小 嶋 俊 樹 議員	9
9月12日(木)	11	1	杉 澤 泰 彦 議員	9
	12	2	平 野 直 幸 議員	10
	13	3	戸 浦 善 彦 議員	11
	14	4	井 田 利 定 議員	12

1. 淵 瀬 栄 子 議員

質問事項 1

閉校した多以良小学校施設の活用について

質問の要旨

閉校した多以良小学校施設に、市役所第3別館に配置している産業振興部と農業委員会事務局及びふれあい工芸館に入居している農業振興公社を移転し、第3別館には西海市社会福祉協議会大瀬戸支所に移転してもらうことで活用を図るよう以下の点から提案するが、いかがお考えか。

- (1)地域住民から閉校後、施設を無人化しないようにとの要望があがっている。
- (2)産業振興部・農業委員会事務局・農業振興公社が同じ施設内で連携が図られる。
- (3)社会福祉協議会大瀬戸支所は、西海市からの要請で九州電力株式会社が所有する建物に移転した。元の場所である第3別館に戻れば、九州電力株式会社に支払っている家賃相当分約470万円の市の補助金を削減できる。

質問事項 2

通学路と生活道路の安全対策について

質問の要旨

2012年7月に小学校通学路の緊急合同点検が実施され、65か所（西彼地区34か所・西海地区13か所・崎戸地区1か所・大島地区11か所・大瀬戸地区6か所）の危険箇所の確認及び対策の検討が行われているが、対策はどこまで進んでいるのか。

通学路や生活道路に樹木が伸び、歩行や車両の通行に支障がある場所の対策が求められているが、いかがお考えか。

質問事項 3

住宅性能向上リフォーム支援事業について

質問の要旨

今年7月から住宅性能向上リフォーム支援事業がスタートして2か月になるが、その利用状況はどうか。

西海市としての予算は200万円で始めたが、増額する必要があると思うが、いかがお考えか。

質問事項 4

玄海原発再稼働の動きについて

質問の要旨

長崎県漁連は、2013年8月5日に、「玄海原子力発電所再稼働に関する緊急対策本部」の設置を決め、反対姿勢を鮮明にしている。

また、昨年の市長と大瀬戸町漁協組合との車座トークの中でも「海はつながっている」と、原発事故による影響を懸念する声が出されていた。

福島第一原発事故は収束するどころか、高い濃度の汚染水が海に流れ出ている問題も発生し深刻な状態が続いている。

脱原発をめざす首長の会に、長崎県から唯一参加している市長として、玄海原発再稼働の動きについての見解を聞く。

質問事項5

国民健康保険について

質問の要旨

西海市の国保世帯の86.5パーセントは、所得が200万円未満である。夫45歳・所得200万円、妻40歳・所得なし、子ども2人、固定資産税5万円のモデル世帯で、国保税は34万200円となり負担率は17パーセントにもなっている。また、所得が皆無でも、7割軽減世帯として国保税の軽減が適用されても負担は求められる。このため滞納を余儀なくされ差押も行われるという状況になっている。

平成25年7月25日に開かれた国保運営協議会において、当初予算に基金から約2億円の繰入が計上されていると報告され、本来財源不足は税収で補わなければならないとして、税率引き上げの4パターンが示されているが、現状以上の負担を市民に求められるのか。

財源不足の大きな要因は、国保への国庫負担率が大幅に引き下げられたことにある。全国市長会の意見書も「国の責任において持続可能な医療保険制度を構築すること」を強く要望している。

2. 岩本利雄議員

質問事項1

職員力について

質問の要旨

(1)汚泥処理施設建設工事の反省が、ごみ処理施設の基礎造成工事に生かされていない

- い。ごみ処理施設の基礎造成工事着手前に、汚泥処理施設建設の反省を踏まえて、市長は関係部局にどのような指示をしたか。
- (2)ごみ処理施設建設に当たってプロジェクトチームが結成されている。立ち上げのときに全体会議を開いていないというが、市のプロジェクトチーム全てがそうか。
- (3)新雪川橋建設に伴い、雪川橋の側道橋を残してほしいとの地区住民からの要望が出されている。要望に対する結論は出たか。新雪川橋建設に対し、市はどの時点でどのような関わり方をしたか。
- (4)第2次行財政集中改革プラン中間実績報告書の「職員定数の削減」によると、普通会計その他の職員数は、平成27年4月には314人に削減するとしている。削減しても行政サービスを低下させないために、どのような職員力向上策をとろうとしているのか。
- (5)最近大型事業などに問題が生じている。職員力にも問題があるような気がする。合併前の町役場的な職員資質から脱皮していないような気がする。その原因の一つに、従来から根強く残っている年功序列制度がある。第2次行財政集中改革プラン中間実績報告書によると、その人事評価制度は平成26年まで「検討」になっている。市長の任期中に「実施」に移行できないか。

3. 渡辺督郎議員

質問事項1

国際交流事業について

質問の要旨

- (1)西海市国際交流協会の前身、大瀬戸町国際交流協会は、平成元年に当時の角田町長の思い入れのもと行政主導の団体として立ち上がったものである。合併協定書にも、国際交流については現行のとおり新市に引継ぎ、交流のための制度は合併後に調整するとある。そこで、ウイツサンデー市と西海市との交流について、今後市としてどのようにするのか示してほしい。
- (2)西海市として、今後の国際交流に対する方針を明確にしてほしい。
- (3)次世代を担う中高生のために、学生交流事業を再開してほしいと思うが、市長の考えはどうか。

質問事項2

JICAボランティアへ市職員を現職参加させることのできる関係例規の整備

について

質問の要旨

市役所職員の JICA ボランティアへの現職参加は、市役所に身分を残したまま参加できる制度です。国際協力の現場で活動することで、職員の人材育成の機会にもなることから、関係例規を整備する考えはないか。

4. 中野良雄議員

質問事項 1

西海市水道事業統合計画と水道水の安定供給について

質問の要旨

- (1)水道事業統合計画策定の目的について
- (2)水道事業統合事業の年次計画と事業の進捗状況について
- (3)水道未普及地域の解消と水圧不足等による安定供給困難地域の改善について
- (4)水道事業統合計画の総事業費と財源について

質問事項 2

空き家等の適正管理と生活環境の保全について

質問の要旨

- (1)空き家等の適正管理と生活環境の保全を目的とする条例制定について
- (2)老朽危険空き家の除却費補助制度の制定について

質問事項 3

大瀬戸斎場の廃止統合計画の見直しについて

質問の要旨

大瀬戸斎場を平成 26 年 3 月末をもって廃止統合する計画については、大瀬戸地区民の理解が深まっていない。総合計画の後期基本計画の最終年度は平成 28 年度となっており、廃止時期を見直し、地区民の理解を深める努力が必要だ。

5. 宮本一昭議員

質問事項 1

大村湾沿岸整備について

質問の要旨

- (1)湾に面した西彼町各地区において以前から設けられていた船着場（波止場）が長年の風雨によって、その多くが破壊された状態で放置されている。今後整備する予定（計画）はあるか伺う。
- (2)旧町時代に沖合に雑石を投入して設営されている防波堤も長年の暴風の影響を受け、防波能力を失い、船の航行を妨げる箇所もある。今後の整備の予定はあるか伺う。
- (3)大村湾浮橋架橋（仮称）の構想が関係市町で話題になっているが、松島架橋構想との兼ね合いについての考え方を伺う。

質問事項 2

農業政策について

質問の要旨

- (1)水稲栽培農家において、近年、ヘリコプター防除が発達し、その面積が拡大してきている。西海市における水田作付面積のうち、ヘリコプターによる防除の面積はどれだけあるか。
- (2)今後の方向性をどのように見ているか。ヘリ防除による農家の意向について。
- (3)耕作放棄地が拡大する中で、高齢農家におけるヘリ防除は労力面から考えても大きなメリットがあると考え。市として今後、推進していく考えはあるか。
- (4)現在の体制は全国各地（主に九州）のヘリオペレーター業者に依頼して、散布作業を行っている。市として将来に向けてオペレーターの要請、ましてはヘリコプターの導入などのビジョンはないか伺う。

6. 中尾清敏議員

質問事項 1

太田和ごみ処理施設周辺整備事業について

質問の要旨

- (1)施設整備事業費、運営費 74 億 1,054 万 7,200 円である。周辺緑地化整備は計画しているか。
- (2)ごみ処理施設への進入道路工事、水道施設工事、下水道工事が遅れているのではないか。進捗状況を伺う。
- (3)施設工事請負は川崎重工KKであるが、市内業者の参入は見込めるのか伺う。

質問事項 2

西海市水道統合計画について

質問の要旨

- (1)平成 24 年第 4 回定例議会における一般質問で、西海市水道統合計画の進捗状況について質問したところ、現状把握をすでに完了し、浄水場の予定候補地の詮索、概算事業費の算出などを行っているとの答弁であったが、現在の進捗状況について伺う。
また、大島浄水場ブロックの水量について、伊佐ノ浦水源からの 3,200 トン、西部水源からの 740 トンで必要量の 3,900 トンを確保する計画で全体計画を考えているとのことであったが、計画の内容について伺う。
- (2)統合により電気代、人件費等の経費が削減でき、水道料金の改定があるのか伺う。

質問事項 3

国指定天然記念物七ツ釜鍾乳洞の再開発取組みについて

質問の要旨

- (1)観光客の接客環境整備について、受入対策等をどう確立するのか伺う。
- (2)ミスズライフ西側の井戸周辺が荒れており、七ツ釜鍾乳洞公園入口でもあることから景観が良くない状態である。ミスズライフと市が共同で公園化整備をできないか伺う。
- (3)七ツ釜鍾乳洞一帯の民間再生に対する動きはかすかに見えてきているが、公園前の旧ホテル周辺の土地所有関係が最大のネックになっている。市有地化する考えはないか伺う。
- (4)企業誘致のインフラ政策の一環として、2本の井戸が掘られた。現在の井戸の使用状況を伺う。
- (5)七ツ釜鍾乳洞事務所前の市道に横断歩道を設置できないか。

7. 吉 田 年 位 議 員

質問事項 1

住宅対策について

質問の要旨

- (1)空き家及び危険家屋について、どのように検討されているか。

- (2)教員住宅は旧町単位であると思うが、入居状況と管理について伺う。
- (3)異動時での先生方の住宅の確保についてはどうしているか。
- (4)西彼町八木原団地跡地の活用は。

質問事項 2

有害鳥獣対策について

質問の要旨

- (1)新年度に入ってからからの捕獲状況と今後の見通しは。
- (2)離島での捕獲処分は検討されているか。

質問事項 3

公共交通について

質問の要旨

今年度より中高一貫校として大崎高校、大崎中学校が大島町中戸地区に開校している。地内に3つのバス停があるが、今後の住民の利便性や交通事故防止、また防犯のため、バス停を2つに統合できないか伺う。

8. 浅田直幸議員

質問事項 1

西海市消防団の現状と課題について

質問の要旨

- (1)消防団の人数が全国でも1989年4月時点で100万人いたのが、2012年4月には87万人と減少傾向にある。西海市においても団員確保については各分団大変苦慮しているところである。
早急に団員確保に向けた具体的な対策を考える時期ではないかと考えるが、市としての取り組みは。
- (2)現在、西海市消防団の消防本部の体制は団長、各方面団長の6名で組織されているが、副団長1名ないしは2名を配置することにより、西海市消防団として連携強化、スムーズな消防活動ができるのではないかと考えるが、市長の考えを伺いたい。

質問事項 2

崎戸町海浜公園の海水浴場認定について

質問の要旨

海浜公園についてはトイレ、シャワー設備も完備しており、十分に海水浴場としての機能を備えている。夏場の観光PRのためにもぜひ海水浴場に認定して頂きたいと思うが、市長の考えを伺いたい。

9. 朝 長 隆 洋 議員

質問事項 1

市内の高等学校を支援し、活かすことによる活性化策を本格的に取り組むべきではないか

質問の要旨

西海市には、3つの高等学校があり、その存在価値は、教育現場という枠を超えて、市の活性化にも大きく貢献している。このことを行政としてしっかりと受け止め、市民協働の町づくりの観点で教育委員会と連携した取り組みが必要と考える。

よりその支援を充実させ、具体的な活動を実施することにより、さらなる西海市の活性化を協働して行う時期に来ている。例えば次のような目標を定め、市民一体となった取り組みを進める考えはないか。

また、このことについて協議できる組織を作り会議を進める考えはないか。

- (1)市内の高校で甲子園出場を目指さないか。
- (2)市内の高校に特別支援学校の分教室を設置していただくよう、県に働きかける考えはないか。
- (3)西彼農業高等学校における、農業技術及び6次産業化を含めた、連携による活性化策をより進めるべきではないか。
- (4)高校生による模擬議会を実施する考えはないか。
- (5)職員による政策提案のような内容を、高校生向けにも実施し、応募してもらい実際に、市長特別枠に出来るような取り組みをしてみては。
- (6)以上の内容について、教育長の考えは。
- (7)大崎高校における中高一貫校の実施が、1学期間を過ぎてみて、教育委員会としてどのように連携してきたか。

さらには、今後の課題がもしあるならば、どのように進めていくのか。

10. 小 嶋 俊 樹 議員

質問事項 1

新庁舎の建設について

質問の要旨

現在の本庁や各総合支所の機能強化のために、新しい庁舎を建設するべきと考えるが、市長の考えを伺いたい。

- (1)現在、本庁や各総合支所の維持に使われる賃貸料等の必要経費は総額でいくらか。
- (2)合併後の行政ガバナンス（統治）に問題があると考えているが、思い切って大瀬戸地区から将来性の高い西彼小迎地区に本庁舎を移転し、これから発展を促すべきと考えるが、市長はどのように考えるか。
- (3)仮に建設するとすれば、建設に関する資料（計画書）は存在するか。

質問事項 2

防災や農地の保全対策について

質問の要旨

- (1)河川や水路などに繁殖する竹や雑木が水害や農地崩壊を引き起こしている。これらの対策は十分にされているか。
- (2)竹林の繁殖で農地の崩壊が危惧されているか。竹の活用を始め、対策はないか。
- (3)各地区に存在する農業用ため池が使用されなくなり、放置されつつあるが、ため池は防災に有効な使用ができるため、多面的な機能を考え、市独自の政策を打ち出すべきではないか。

11. 杉 澤 泰 彦 議員

質問事項 1

大島幼稚園 3 歳児受け入れについて

質問の要旨

当施設における 3 歳児受け入れの必要性については再三訴えてきたところであるが、現在、保護者を中心に地域を巻き込んだ署名活動が起こっている。近隣私立幼稚園が閉園、廃園された大崎地区、西海地区における幼児教育の充実を図るために早急な対応が要求されている。来年度からの実施について考え方を聞く。

質問事項 2

平島地区就学前幼児の預かり保育について

質問の要旨

離島であるがゆえにこの地域における幼児預かり体制（保育所）は未だに整備されていない。市当局のこれまでの対応については評価するところであるが、行き詰った状況であることは否めない。今後、過疎債等を利用した市単独事業として実施する方向を提言したいが考えを聞く。

質問事項 3

水産振興策について

質問の要旨

- (1)西海市水産業について資源の量的維持について問題点と今後の対策を聞く。
- (2)外海（五島灘側）と内海（大村湾）の生態的関連性（稚魚と成魚の関連）について聞く。
- (3)今後の新規就業者確保政策について聞く。
- (4)現在の漁業従事者子弟間における後継者育成について問題点と対策を聞く。

12. 平野直幸議員

質問事項 1

農業の適地適作を推進する戦略プランについて

質問の要旨

西海市の基幹産業である農業を、持続・継続する産業として育成支援していくには、地域の特性を活かした作目についての構造の改善と農業への果敢な挑戦が必要と考える。つまり、創造農業への転換が重要と思慮する。

特に西海町の北部一帯は肥沃な赤土に恵まれ、かつては県下三大の優良農地といわれ、実頭農場も存在していたほどである。さらに、この一帯には、187万トン農業用ダムからの畑地灌漑施設も布設され、露地、施設型農業振興地域として価値が高い。

現在は、その一帯の一部分に、「丸田団地」が整備中であるが、この取り組みは、きびしい農業の現下、久しぶりに明るい構造改善を採用した適地・適作の事業であると理解するとともに、これからの農作物のブランド化に活かすべきだと考える。

ならば西海町北部地域で、農地の集積と耕作放棄地解消を含めた第2、第3の農地基盤の整備を行い、特上ばれいしょ、甘藷、大根など根菜類の生産を拡大し、西

海市が特上農作物の食材の基地として躍動する農業のまちへ蘇生するチャンスがあると確信する。ついては、西海市農業の戦略プランとして次のことを伺う。

- (1)新規に創造する農業の計画はあるか。
- (2)「丸田方式」を他にもブロック的に拡大することはどうか。
- (3)農業振興公社機能をさらに拡充することはどうか。
- (4)西海市を食料生産基地とする戦略プランはどうか。
- (5)防衛関連での事業化と支援策は検討できないか。

13. 戸 浦 善 彦 議員

質問事項 1

西海市内道路網の整備状況について

質問の要旨

- (1)市内道路（市道、県道、国道）のランク別総延長並びに改良率はどうなっているか。
- (2)市内道路網の今後の改良計画について伺う。
- (3)下記市道及び県道の具体的整備計画について伺う。
 - ① 伊ノ浦線（市道 1 級）
 - ② 水浦高地線（市道 1 級）
 - ③ 水浦郷その他市道（山頭地区より入る）
 - ④ 川内地区における西彼太田和港線（県道主要地方道）

質問事項 2

定住促進（人口減）対策について

質問の要旨

- (1)具体的対策は講じているのか。問題点をどのように捉えているか。
- (2)市外通勤者（市職員、教職員）への対策は。

質問事項 3

西海市の水産業について

質問の要旨

- (1)西海市の水産業について、水揚量、従事者数などの現状を伺う。
- (2)西海市の水産業における水揚量、従事者数の推移はどのようになっているか。

- (3)西海市における水産業の問題点は。
- (4)西海市の水産業振興に対する重点目標は。

14. 井田利定議員

質問事項 1

選挙事務について

質問の要旨

- (1)平成 25 年 7 月 21 日に投開票された第 23 回参議院議員選挙において有権者からの苦情申告はなかったか。あった場合の申告内容及び対応策は何か伺う。
- (2)選挙事務に従事する職員の指導は徹底され、統一されていたのか伺う。
- (3)期日前投票について、投票所入場券に期日前宣誓書を印刷できないか伺う。
- (4)選挙投票率の低下防止策は講じていたのか伺う。
- (5)高齢者や投票所から離れた地域に居住する者に対する投票所への移動支援など、対応が急務であると思うが考えを伺う。

質問事項 2

命を守る行政力

質問の要旨

- (1)自動体外式除細動器（A E D）の市内設置個数（公共施設・民間企業会社）を伺う。
- (2)設置場所等の市民への周知方法について伺う。
- (3)市内 24 時間営業のコンビニエンスストアに設置し、支援、指導すべきでないか伺う。
- (4)健康ハートの日の本年度の啓発活動について伺う。
- (5)いじめ防止対策について教育現場での指導について伺う。
- (6)消防行政の強化、火災の第一通報先である広域消防署の消火活動に支障がないような市道及び生活道の整備は図られているか伺う。
- (7)効率的な消火栓の設置は図られているか伺う。
- (8)ドクターヘリポートの充実と消防署との連携は万全か伺う。